

平成30年度施設管理に対する評価シート

基本情報

管理施設

施設名	大阪市立生涯学習センター
指定管理者名	大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体
評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当 (電話：06-6539-3345)

管理運営業務等の概要

業務概要	全市的な生涯学習推進の「中核施設」としての機能を果たす総合生涯学習センターと2つの市民学習センターが、有機的に連携して、3館一体となり「区域」及び「小学校区」の学習圏での学習活動を支援するほか、貸室事業、施設の総合管理、建物及び付属設備の維持保全業務等を実施する。																													
利用状況の概要	平成30年度の室利用率・室利用人数 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">室利用率(%)</th> <th colspan="2">室利用人数(人)</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>87.0</td> <td>86.3</td> <td>251,026</td> <td>250,372</td> </tr> <tr> <td>阿倍野</td> <td>72.2</td> <td>74.3</td> <td>167,130</td> <td>170,167</td> </tr> <tr> <td>難波</td> <td>76.2</td> <td>75.8</td> <td>183,686</td> <td>185,576</td> </tr> <tr> <td>平均/合計</td> <td>78.5</td> <td>78.8</td> <td>601,842</td> <td>606,115</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度の来館者数 684,958人(29年度 704,930人)</p>		室利用率(%)		室利用人数(人)		H29	H30	H29	H30	総合	87.0	86.3	251,026	250,372	阿倍野	72.2	74.3	167,130	170,167	難波	76.2	75.8	183,686	185,576	平均/合計	78.5	78.8	601,842	606,115
	室利用率(%)		室利用人数(人)																											
	H29	H30	H29	H30																										
総合	87.0	86.3	251,026	250,372																										
阿倍野	72.2	74.3	167,130	170,167																										
難波	76.2	75.8	183,686	185,576																										
平均/合計	78.5	78.8	601,842	606,115																										
施設の設置目的・目標 (成果指標)	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ることにより、市民の文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与することを目的とする。 (公募時に提示した成果指標) <ul style="list-style-type: none"> ・貸室利用者アンケートの満足度 80%以上 ・事業参加者アンケートの満足度 80%以上 ・貸室利用率 各館70%以上 																													
年度目標	上記の成果指標のとおり																													

管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

施設の管理運営状況(管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は仕様のレベルを十分に満たしている。 ・AEDの設置及び職員対象操作講習会の実施、非常時に備えての防災備蓄の整備、災害時における避難放送を「やさしい日本語」「英語」で行うことができるようアナウンス例の常備など、利用者の安全確保・危機管理に努めている。 ・会議室やロビーの照明の計画的なLED化を図り、明るく安全な施設づくりを進めている。
--	---

<p>事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定期間（平成27年度～31年度）の4年目となり、これまでの実績とノウハウを踏まえ、安定的な施設運営と事業推進が図られている。 ・ 自然災害による施設の利用取消しが多かったが、新規利用グループの開拓や、利用率の低調な部屋・時間帯の利用促進に努め、3館平均の室利用率は78.8%（前年比+0.3%）と前年度を上回った。 ・ 貸室利用に係る英語での案内が容易にできるよう指差しで使用するコミュニケーションボードを作成し、外国人利用者への円滑な対応に努めている。 ・ 総合生涯学習センターでは、最寄り駅の一つである大阪駅からの道順（経路）を写真入りでホームページに掲載し、来館者への円滑な案内に役立っている。 ・ 難波市民学習センターでは、利用グループの活動支援として館内の空きスペースを活用して団体ポスター等の掲示を行うなど、好評を得ている。 ・ 貸室利用者アンケートでは施設利用の満足度は「満足」「おおむね満足」の回答が96.3%、職員の対応については「良い」「おおむね良い」の回答が97.6%となっており、事業参加者アンケートでは「大変良かった」「良かった」の回答が92.1%と、顧客満足度の高い安定的なサービスが提供されている。 ・ 「親力アップサポーター」養成講座の修了生による自主グループが組織され（5グループ）、市民向けの講座を企画したり（29講座/参加者140名）、教育委員会主催の家庭教育事業と協働するなど活躍している。
<p>施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民グループ・NPOに対して、運営支援（ネットワーク・ラボ、ネットワークサロン）、助成（NPO・市民活動企画助成事業）等を行うことで、市民協働を総合的に推進している。 ・ 総合生涯学習センターでは、市立大学や大学サテライトオフィス等と連携し、各大学の特性を生かした講座を開講している。また、市民学習センターにおいても、大学や民間企業（大型集客施設）等との連携事業が取り組まれている。 ・ 平成28年度に神戸学院大学と協働開発した「防災学習プログラム」については、積極的なPRにより地域における多くの学習会で活用されている（貸出数：154団体）ほか、文部科学省主催の社会教育主事講習にて事例発表を行い、全国に発信する機会ともなった。さらには、その第2弾（映像を中心とした学習教材）を企画し、次年度の貸出開始に向けて制作作業を進めるなど、新たな学習教材の開発にも取り組んでいる。 ・ 各区の生涯学習ルームや生涯学習フェスティバル等を取材し、旬な話題としてSNSで発信したり（スタートルのいろいろ掲示板）、好事例を「スタートル新聞」にまとめて発行するなど、地域の活動情報を発信し、教育コミュニティづくりの支援に努めている。 ・ 報道機関や民間情報誌にも積極的にパブリシティを行い、なかでも難波市民学習センターについては掲載数が大幅に増加した（2倍以上）。そのほか、韓国スウォン市や岡山県生涯学習センターなどの視察受け入れなども行った。

2 市費の縮減効果（収支状況）

収入・支出状況	収入 320,592,316円（内業務代行料 128,013,196円） 支出 308,131,136円 利益配分 なし（市への納付金）
市費縮減に係る取組み状況	光熱水費の節減や、スケールメリットを生かした共同購入・共同入札の実施などを通して、歳出の縮減に努めている。

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取組み等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の雇用状況は、法定雇用者数を満たしている。 ・個人情報保護規程を策定し、適切に取り扱っている。 ・人権研修をはじめとした職員研修を適切に実施している。
--	--

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

評価項目概要	施設の設置目的や「生涯学習大阪計画」をふまえた、全市的な生涯学習支援の拠点機能を果たすための事業の実施
上記についての成果や望まれる対応等	<p>上記を実現するために、多様な事業に取り組んだ。</p> <p>情報収集・提供と学習相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習相談 【相談件数 16,896件】 <p>現代的・社会的課題に関する学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政課題に関する講座や本市各部局と連携した出前講座を実施 【大阪市出前講座 実施件数 180件】 <p>人材養成・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進員養成講座・3年次研修 【修了者数 402人】 ・識字・日本語交流が ランティア入門講座・研修【受講者数のべ775人】 ・生涯学習インストラクターバンク 【登録者数 519人】 ・親力アップサポーター養成講座・研修 【受講者数 39人】 <p>教育コミュニティ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校区の生涯学習ルーム事業やはぐくみネット事業に対する支援（研修や交流機会の提供、活動紹介・情報発信等）

評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

<p>施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3館平均の室利用率は、78.8%（前年比+0.3%）と前年度より向上しており、市民利用施設として非常に高い水準を保っている。また、施設利用の満足度は96.2%、職員対応の満足度は97.6%、事業の満足度は92.1%と、いずれも年度目標を超えており、高いレベルでの市民サービスが提供されている。 ・事業終了後に受講者の自主グループ化を図り、さらなる活動の場を提供するなど、学びと行動が循環する生涯学習支援を丁寧に行っており、地域公共人材の育成や施設の利用促進に貢献している。 ・全国や外国からも視察依頼があり、高いレベルでの生涯学習事業を展開している。 ・多様な施策を着実に実施するとともに、大学との連携により開発した防災学習プログラムが積極的なPRにより地域の多くの学習会で活用されるなど、地域課題の解決につながる取組みを行っている。 	<p>A</p>
<p>市費の縮減効果に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の節減や、スケールメリットを生かした維持管理費の抑制など、支出の縮減に努めている。 	<p>B</p>
<p>社会的責任・市の施策との整合等に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用の取組みや個人情報保護など、社会的責任・市の施策と合致している。 	<p>B</p>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3館平均の室利用率は、自然災害の影響を受けたにもかかわらず、前年度より向上しており、利用促進の取組みや積極的なパブリシティによる認知度向上の取組み等の成果が現れている。 ・市費の縮減が計画どおり図られている。 ・施設の設置目的や求められる施策についても十分に理解し、積極的により良い施設づくりや事業展開を検討し、着実に実行している点は、事業計画以上に本市の生涯学習施策推進に貢献しているものとして高く評価できる。 	<p>A</p>

2 外部専門家等の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習プログラムは引き続き多くの地域学習会で活用され、さらには、映像主体の新たな防災学習教材の開発も進めており、地域団体とのつながりが今後も継続していくこと、広がっていくことが期待できる。 ・利用率の低調な部屋・時間帯を分析して、改善に向けてきちんとアプローチしており、3館の平均利用率は前年度に比べて上がっている。 ・維持管理に係る経費の支出を抑制し、市費の縮減に努めている。 ・「親力アップサポーター」養成講座の修了者による自主グループ化が定着してきており、グループが企画した学習会の実施等、子育て層への学習機会の提供・支援が図られている。 ・3館のパブリシティについては、難波市民学習センターによる掲載数が昨年度より大幅に増えているなど、努力はうかがえるが、全体の事業数から見れば、まだ十分とは言えない。他施設で効果を上げている手法を参考にするなど、パブリシティのさらなる促進を期待する。

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

<p>施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の満足度、職員対応の満足度、事業の満足度はいずれも目標値を大きく上回り、高いサービス水準を維持している。 	<p>A</p>
----------------------------------	---	----------

市費の縮減効果に対する評価	・光熱水費の節減や、スケールメリットを生かした維持管理費の抑制など、支出の縮減に努めている。	B
社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	・障がい者雇用の取組みや個人情報の保護、人権研修の実施など、社会的責任を十分に果たしている。 ・地域公共人材育成の取組みでは、地域で子育てについて共に学び・交流する活動を推進するボランティア「親力アップサポーター」の養成講座修了者が自主グループ化して市民向けに学習会等を企画・実施するなど、子育て層への学習機会の提供・支援が図られるとともに、学習成果の還元という課題にも応えられており、本市が求める役割を大いに果たしている。	A
総合評価	・3館平均の室利用率は、前年度より向上しており、市民利用施設として高い水準を維持している。また、施設利用の満足度、職員対応の満足度、事業の満足度はいずれも年度目標を超えており、高いレベルでの市民サービスが提供されている。 ・支出の抑制に努め、市費の縮減が図られている。 ・施設の設置目的や求められる施策についても十分に理解し、自律的により良い施設づくりや事業展開を検討し、着実に実行している点は、事業計画以上に本市の生涯学習施策推進に貢献しているものと高く評価できる。	A

- 評価の基準
- S...事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
 - A...事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
 - B...おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
 - C...事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、指名停止措置（平成25年4月から「参加停止措置」）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてCとすること